

- (1)調査期間 令和3(2021)年11月15日～11月30日  
 (2)調査対象 「児童支援事業所どんぐり」に従事する児童指導員及び保育士10名  
 (3)調査方法 従事者10名に調査票(事業者向け)を配布、無記名回収。  
 (4)回収状況 有効票(10票) 有効回収率(100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	40%	10%	日によるがタイムアウトスペースがない時や相性の関係で過ごしにくい時がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	80%	20%		職員が体調不良で休むと厳しい。 スタッフの人数は多めに配置されている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20%		車いす利用の方はいないが、段差の改修は行われている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	80%	20%		平日は毎日スタッフ間での会議を実施しており、それ以外にも必要なメンバーで打ち合わせを随時実施できている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			年一回の実施をし、スタッフ会議で共有、反省をしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	60%	40%		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		50%	50%	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	20%		SSTの研修をやってもよいのでは。 「WISC-IVの見方」、「ワーキングメモリについて」、「自閉症の方へのコミュニケーション」、「強度行動障害支援者養成研修」、「相談支援従事者更新研修」、「サビ児管更新研修」、などを行った。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			保護者面談の実施ができた。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	70%	30%		3か月まとめやモニタリング表などを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%		一部の人でやっている印象。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	10%		コロナ禍で似たような活動になりやすい。必要に応じて細かい内容の変更をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	90%	10%		個別計画の目標に沿う支援を入れているが、その都度変わっていくこともあるので、情報共有をしていきたい。不規則勤務で抜けて行ってしまふところがある。 学校と連携し、長期休みには自立課題への取り組みを継続できるようにしている。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			30分間の連絡会を設けている。前日までの変化なども共有するように心がけている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	40%	60%		その日のうちにはできないこともあるが、必要な振り返りをできる時に行う。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80%	10%	10%	後で見返したときにもわかる記録の取り方をしていきたい。何かあったのに書いていないのでは困る。 記録の取り忘れや書けていないことがある。支援の検証に必要な記録がなく、困る時には確認を取る。 支援記録の作成にスタッフ間の差がみられており、改善の必要がある。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	90%	10%		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	90%	10%		コロナ禍にあり、会議開催は減っているが、適時適任者が参画するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			マイナスな引継ぎは、ご本人の前で行わないようにしている。
関係機関や保護者との連携	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	50%	10%	40%	医ケア児がいないが、どこの病院にかかっているか、どんな症状か、などの医療情報が取れている。 看護師の配置がなく、受けいれていない。(2)
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	40%	10%	通っていた保育園からの通所の様子が書かれた書類を見たことがある。 現在は行っていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	90%	10%		今年度は3名の卒業者が予定されており、引き継ぐ準備を進めていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20%	50%	30%	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		20%	80%	コロナ禍もあり、交流がない。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		20%	80%	部会の開催があれば、参加の方向で改善していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	60%	40%	10%	ご家庭で取り組みそうなことを提案したり、事業所の取り組みを伝えている。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			計画の振り返りのタイミングや、保護者から話があった際に、相談に応じ、助言を行っている。 日々の引継ぎに児発管が助言を行えている。
保護者への説明責任等	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10%	20%	70%	保護者らが望んでおらず開催していない。今後も意向を確認していく。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%		苦情へは迅速に対応しているが、対応体制を保護者に周知できているかという点不十分。今後改善が必要。通信に記入して知らせしていく。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			長期休みごとに通信をだしている。
	③5	個人情報に十分注意しているか	100%			
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			iPadや絵カード、写真、手順書、大型絵本の活用をしている。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		10%	90%	所内のみで行事を行っている。コロナ禍の為、あまり多くの人と接しないようにしている。 コロナ禍にあり行っていない。
	非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%	
③9		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			様々な条件を想定して行っている。 月一度、「安全の日」として防災意識を高めている。 年三回実施。毎月一回「安全の日」とし、子どもたちと取り組んでいる。月に一回の安全点検も実施している。
④0		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	70%		30%	今年、虐待に対する研修の機会がなかった。今年度中に所内研修を行いたい。
④1		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%		現在計画に、記載してやむを得ず身体拘束という利用児は利用していない。
④2		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	90%	10%		食事提供の際にはアレルギー物質の除去を行い、有事の際の頓服薬の預かりもしている。 ナッツアレルギー、薬預かりあり、掲示し食べ物提供時には確認している。
④3		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			ヒヤリハット記入し、月に1回スタッフ会議で共有している。

保護者向け 放課後等デイサービス評価表 集計結果

- (1)調査期間 令和3年11月15日～11月30日  
 (2)調査対象 児童支援事業所どんぐりをご利用中のご家庭13世帯  
 (3)調査方法 保護者へ調査票(保護者向け)を手渡し配布、無記名で封入されたものを回収。  
 (4)回収状況 有効票(12票) 有効回収率(92%) (項目によっては未回答有)

		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%		手厚く支援していただいている。	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	91.6%	8.4%		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%		現場実習や卒業後の事まで見通し、課題になってくることに対して手立てを考えたり、支援を工夫して下さったりしてありがたかった。	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	91.6%	8.4%	スタッフさんに助けてもらい、家庭ではできないような集団遊びや体験をさせていただき、ありがたい。本人が誘いに応じないのかもしれないが…。	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		50%	40%	要望があれば行ってもよいと思うが、特に必要はない。 希望しません(本人も親も)
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			子や家庭の状況に応じたサービスを提供していただいている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			日頃から情報交換できているおかげで、共通理解を持っている安心感があり、相談しやすい。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			困った事や不安なことがあると、その都度一緒に対策を考えてくださるので心強い。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16.6%	50%	33.4%	忙しい保護者が多いので、なくてもよい。必要あればスタッフさんを介して情報交換できればと思う。 利用して期間が短いですが、その機会はなかった。 希望しません
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83.3%	16.7%		気になっていたことなどにすぐ伝えあっていると思うので、苦情が出る状況にならないと思う。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			子供と一緒に聞いていて嫌な気持ちになる話は電話等で知らせていただいている。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	91.6%	8.4%		どんぐり通信楽しみにしてます。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100%			
非常	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100%			

	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%			それぞれの災害や、避難方法について、事前指導がしっかりされており、真剣に訓練できているようでありがたい。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			診察、注射などの苦手なことも、「どんぐりにいける」ことを励みに頑張っている。毎日帰宅後はスタッフさんや利用者さんの話ばかりしている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%			子供や保護者の思いに寄り添った支援に感謝しています。 進路のこと、生活や活動範囲の情報など、本当にたくさんの支援をさせていただいており、感謝につきません。

以上